



～さらに安全・安心なまちをめざして～ セーフコミュニティ通信 第3号



発行 平成28年3月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

【対策委員会におけるワークショップの内容】



第6回：平成27年12月14日（月） 第7回：平成28年1月18日（月） 第8回：2月15日（月）

- 重点課題を解決するための方向性（環境改善、啓発教育、規則・ルールづくりなど）と対象（年代、性別、地域等）の決定など、具体的な取り組みについての話し合いが行われました。
- 各対策委員および市職員を対象としたセーフコミュニティに関する講演会
演題：「まちの安全とセーフコミュニティ「心」と「技」で安心・安全・元気な街を！」
（講師）神奈川県厚木市セーフコミュニティ総合指導員 倉持 隆雄 氏
- 外傷サーベイランス委員会及び推進協議会で、これまでの活動について報告する資料の内容確認とこれまでの取り組みの振り返り作業



これまでの取り組みをおさらい



厚木市 倉持氏による講演会



重点課題の方向性等について話し合い

現時点における取り組むべき重点課題



昨年7月の第1回対策委員会から本年2月までに、計7回のワークショップによる検討を重ねた結果、現時点における取り組むべき重点課題が決定しました。客観的なデータの分析と、委員それぞれの主観的な考えを分類、整理し、現時点で21項目の課題が浮かび上がってきました。

交通安全 対策委員会

- ・ 高校生の自転車事故が多い
- ・ 高齢者の事故は重傷になりやすい
- ・ 交差点での事故が多い

自殺予防 対策委員会

- ・ 働き盛りの自殺が多く、若者の自殺が減少しない
- ・ 健康や経済問題が原因の自殺が多い
- ・ 自殺相談窓口などが知られていない

こどもの安全 対策委員会

- ・ こどもの交通事故が多い
- ・ 虐待を受けているこどもが増えている
- ・ こどもたちの安全な居場所がない

防犯 対策委員会

- ・ 駅前の治安が悪い
- ・ 地域力が低下してきている
- ・ ハイリスク集団（女性、こども、高齢者）の被害が増加傾向
- ・ 情報モラルを学ぶ機会が少ない
- ・ 防犯の意識、知識が低い

高齢者の安全 対策委員会

- ・ 高齢者の転倒事故が多い
- ・ 高齢者虐待が多い
- ・ 認知症の方への対策
- ・ 高齢者の交通事故が多い



具体的な対策の実現に向けて検討を続けています。

防災・環境安全 対策委員会

- ・ 火災、自然災害等の不安が大きいが、防災意識は低い
- ・ 地域コミュニティが低下している
- ・ 労働災害が県平均より多い

今年度2回目の会議を開催！外傷サーベイランス委員会



平成27年度「第2回郡山市セーフコミュニティ外傷サーベイランス委員会」

平成28年2月18日（木）（場所：総合福祉センター 3階 技能習得室）

外傷サーベイランス委員会は、市内9つの団体・機関等の代表者で構成され、外傷等データの収集、分析を行うとともに各対策委員会の活動を検証する役割を担う組織です。

委員会では、各対策委員会の市の庶務担当課職員が、これまでの取り組みについて報告し、委員の方々は、より細かいデータの必要性や疑問点などを問いかけるとともに、自身が所属する団体が保有しているデータの提供について、積極的に協力するとのお話もいただきました。



専門的な立場から助言を行う外傷サーベイランス委員の皆さん



対策委員会ごとに取り組みを報告



取り組み報告を受けて活動内容を検証

委員の皆様からの助言をもとにSC活動に取り組んでいきます。

外傷サーベイランス委員からの意見やアドバイス



（交通安全対策委員会へのアドバイス）

- ・ 自転車乗車中、或いは歩行中なのかなど、事故がどのような状態で起きたか、もっと細かく分析しないと、対策できないのではないか。
- ・ 郡山市全体の特徴をもう少し見えるようにまとめた方が良いのではないかと。

（自殺予防対策委員会へのアドバイス）

- ・ 自殺の原因として、病気・経済問題となっているが、どちらかといえば病的な部分が多く、また、若い人の自殺率が高いということは全国的に言えることで、国も予防対策を強化すべきと言っている。

（こどもの安全対策委員会へのアドバイス）

- ・ 虐待が増えているというなら、増えているデータを検証し、内容を具体的に列挙するのが良い手法だと思う。

（防犯対策委員会へのアドバイス）

- ・ 客引き条例について、飲食街の方々やビルの管理者に講習を受けさせ、周知徹底が必要ではないかと。

（高齢者の安全対策委員会へのアドバイス）

- ・ 市民意識調査アンケートでは、「転倒や転落」によるケガが多いが、室内か室外か、そして転ぶ方向によっても重傷度が違ったりするので、より細かなデータが必要ではないかと。

（防災・環境安全対策委員会へのアドバイス）

- ・ 避難誘導や人命救出・救助については消防と市が連携して対応していくが、一番は危険箇所などを把握し、それを住民に周知するのが大切だと思う。

厚木市、秩父市、北本市のSC活動を学んできました！

セーフコミュニティ先進自治体を視察研修 (神奈川県厚木市・埼玉県秩父市にて)



各対策委員および外傷サーベイランス委員の代表が、セーフコミュニティ先進自治体である神奈川県厚木市、埼玉県秩父市を視察研修しました。

秩父市では、北本市の対策委員、担当職員が合流し、3市での意見交換会となりました。

研修に参加した委員の皆さんは、視察現場を写真に収めたりしながら、真剣なまなざしで視察研修に臨みました。今後は、参加者が所属する委員会で内容報告を行うなど、各分野の取り組みに役立てて参ります。

厚木市、秩父市、北本市の皆様には、セーフコミュニティの取り組みについて、具体的な説明をいただきました。今後とも3市をはじめ、セーフコミュニティ先進自治体との交流を深め、より効果的な対策を進めて参ります。



❁ 神奈川県厚木市視察研修 平成28年2月3日（水）～4日（木） ❁



厚木市のSC取り組みについて

【参加者】

対策委員	4名
外傷サーベイランス委員	3名
SC事務局（市民安全課）	2名
	計 9名



夜の街を見守る厚木市客引き行為指導員



防犯活動拠点である「番屋」を視察
10名の体制でパトロール

【研修内容】

- 研修初日
 - ・厚木市におけるSC活動の概要や職場の安全対策委員会の活動報告
- 研修2日目
 - ・市ぼうさいの丘公園内の備蓄倉庫等を視察研修



災害備蓄倉庫には組み立て車いすも多数常備

研修で多くのことを学ぶ
ことができました！



❁ こんなに変化が？ より安全・安心な街に生まれ変わった厚木市 ❁

厚木市は、かつて、犯罪件数が減少し続けているのに、体感治安が改善しないという課題を抱えていました。

そのような中、セーフコミュニティに取り組み、駅周辺の環境浄化対策として、防犯パトロールの拠点となる「番屋」を設置するなど、地域・警察・行政が一体となり、繁華街対策を行った結果、以前よりも安心・安全が実感できる街になりました。

厚木市のセーフコミュニティ取り組み成果の一例



- ・市営駐輪場を整備
- ・見廻り誘導員の街頭指導
- ・住民の意識の向上



こんなきれいな街に住みたいな。



❁ 埼玉県秩父市視察研修 平成28年2月16日（火）～ 17日（水） ❁



秩父市、北本市、本市の合同による研修

【参加者】

対策委員 8名
 外傷サーベイランス委員 2名
 SC事務局（市民安全課） 2名
 計 12名

【研修内容】

- 研修初日
 - ・秩父市・北本市・本市におけるSC活動の概要や活動報告
- 研修2日目
 - ・市保健センターで自殺予防の取り組み
 - ・市立日野田保育所で園児のけが防止のためのリズム体操等を視察研修



自殺予防の取り組みについて



秩父市のSC取り組みについて



ピアノ伴奏に合わせ園児によるリズム体操

❁ こんなに変化が？ 取り組みにより自殺者数が減少傾向の秩父市 ❁

秩父市は、有名な渓谷があり、大きな橋があることから、自殺の名所とされる所がありました。セーフコミュニティに取り組んでから、自殺件数が減少傾向にあります。



だいたいよきみはせかいにひとりだけ

子どもたちが考えた自殺予防の標語入り看板を橋のたもとに設置



子どもたちも自殺予防の標語を考えるなど、市民がみんなで自殺予防に取り組んだ成果だね。



今後の会議開催予定

○平成27年度「第2回郡山市セーフコミュニティ推進協議会」

平成28年3月17日（木）

午後3時30分～5時00分

会場：市役所本庁舎 2階 特別会議室

○分野別対策委員会

委員会ごとに、毎月一回程度開催し、H28年秋に予定している事前指導に向け協議を行っていく予定です。



発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

事務局 郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室

電話 024-924-2151 Fax 024-921-1340

e-mail simi.nanzen@city.koriyama.fukushima.jp

